

Topics

第41回総合的交通基盤整備連絡会議を開催しました

国土交通省総合政策局総務課（総合交通体系）では、年に一度、各地方公共団体における総合交通関連施策の推進支援を目的に、総合的交通基盤整備連絡会議を開催しています。

今年度は、11月10日(火)に「ウィズ・コロナ/アフター・コロナにおける地域交通体系のあり方」をテーマに、初めてオンライン形式で開催しました。

北海道から沖縄まで、全国から211名の参加がありました。



< 次 第 >

1. 開会
2. 主催者挨拶
3. 主催者より問題提起
4. 講演
 - ① コロナ禍を乗り越える
講師：福島大学 准教授 吉田 樹
 - ② データはどのように地域交通を支え、変えてゆけるか
講師：東京大学 特任講師 伊藤 昌毅
 - ③ 高齢者等の生活ニーズから考える地域の「移動支援」
講師：ニッセイ基礎研究所 准主任研究員 坊 美生子
 - ④ 高松市における総合的な交通体系の再構築
講師：香川県高松市都市整備局交通政策課 課長 西吉 隆典
5. 質疑（パネルディスカッション形式）
6. 総評
7. 閉会

“コロナ禍を乗り越えるには、安心しておでかける地域モビリティを見失わないこと。いままで考えてきたことにヒントがある。”（福島大学 吉田准教授）

“データは全ての取り組みの基礎。データがあることで、次の一手が打てる。これはコロナ禍においても同じ。”（東京大学 伊藤特任講師）

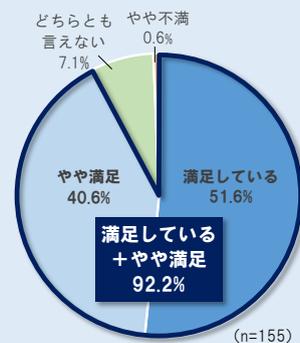
“移動手段は、交通手段ではなく、利用者のニーズから考えることが重要。ニーズを意識することで、新たな方法が見つかることも。”（ニッセイ基礎研究所 坊准主任研究員）

“先行投資として、将来に向けた取組を実施することで、持続可能で利便性の高い交通ネットワークを再構築できる。”（高松市 西吉課長）

< アンケート結果 >

- ・専門的に研究している講師の講演は、データに裏付けられた分析や知見と最新の社会情勢を聴講することができ大変参考となりました。
- ・人々の交通行動について、コロナ前とコロナ渦の状況を比較しながら、どういった特性に変わっているのかよく分かりました。
- ・どうしても自分が担当するコミュニティバスを主体に考えてしまうが、利用者目線で考えると、バス以外にも視野を広げる必要性を感じました。
- ・パネルディスカッション形式の質疑応答では、対面式の会議ではなかなか見られない講師の意見交換を聞くことができ、有意義でした。

○満足度



開催概要はこちら

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/2012-1sougoukouutsu.pdf>



総合交通体系グループだより

◆出前講座開催のご報告とご案内（国土交通省 総合政策局 総務課）

11月20日に、滋賀県大津市役所で、市の交通政策担当者等を対象にした出前講座を開催しました。

国土交通省総合政策局総務課(総合交通体系)では、地域のモビリティ確保に関する出前講座を実施しています。ご希望の方は、hqt-soukou01@mlit.go.jpまでご連絡ください。



◆自治体の総合的な交通計画の公表情報（R2.9～R2.11）（国土交通省 総合政策局 総務課）

令和2年9月1日～令和2年11月27日の間に、ウェブサイトにおいて公表された自治体の総合的な交通に係る計画です。自地域における計画策定等の参考にして頂ければ幸いです。

参考情報はこちら

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/2012-2sougoukoutsu.pdf>



◆中・長期的な国土レベルの計画のフォローアップ・見直しの動向

国土づくり、社会資本整備、交通政策に関する中長期的な計画について、フォローアップや見直しが行われています。新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた、今後のあり方等も議論されています。

■国土形成計画のフォローアップ（国土審議会計画推進部会国土の長期展望専門委員会）

- ・次期計画の前提となる「国土の長期展望」について、議論が行われています。
- ・人口減少の進行や急速な少子高齢化、自然災害の激甚化・頻発化、感染症等に対する危機意識の高まりなど、昨今の国土を取り巻く状況変化を踏まえ、2050年までに我が国の国土や人々の暮らしがどのように変化しているかを調査・分析しています。
- ・2020年10月23日には、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた今後の国土づくりの方向性を中間とりまとめとして、整理しています。

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s104_choukitennbou01.html



■社会資本整備重点計画の次期計画の検討（社会資本整備審議会 計画部会）

- ・次期計画の策定に向け、現行計画の進捗状況や今後の施策の方向性について、議論が行われています。
- ・2020年8月21日に開催された会議では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会資本整備・交通政策への影響と課題についても議論されています。

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s203_keikaku01.html



■交通政策基本計画の次期計画の検討（社会資本整備審議会 計画部会 交通政策基本計画小委員会）

- ・次期計画の策定に向け、交通を取り巻く我が国の危機感やこれまでの交通の動向と課題等について、議論が行われています。

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s204_koutuuseisaku01.html



コラム

◆総合交通体系グループのメンバー紹介

本メールマガジンを発行する国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ）のメンバーを紹介したいと思います。

第2回はグループの統計調査やバリアフリー・ナビプロジェクトを担当する上田章紘企画専門官です

移動・交通のありがたさを改めて感じる

初めまして。今年の7月から現職に着任しました上田と申します。

私はこれまでの職務の中で、道路系の仕事を中心としつつも、河川環境、港湾物流、国交省の中長期的な課題調査として住宅・都市問題を研究するなど、幅広い分野を担当・経験させていただきました。

現在は当グループにおいて、全国幹線旅客純流動調査という、幹線交通機関における旅客流動の実態を5年に1回全国調査を行っています。本来は今年10月に実態調査を行う予定でしたが、新型コロナの影響で来年度に延期する予定となっております。また、バリアフリー・ナビプロジェクトとして、ICTを活用した歩行者移動支援にも取り組んでおり、現在各施設においてバリアフリー化は徐々に進んできていますが、車いすやベビーカー等の方々が、バリアフリーな経路をスマホ等で調べながら選択できるよう、データ整備の環境づくり等を進めています。

前職は、離島振興課という部署で、離島振興に励んでいました。上の写真は、鹿児島県の甬島で今年開通した甬大橋に、昨年度工事中に伺った時の写真です（私は右から四番目）。甬島列島の有人島は上・中・下甬島の3島から構成されており、上と中は既に橋で繋がっていますが、中と下はまだ繋がっていませんでした。出張したのは3月でしたが、海がしけていて、船が出航せず、結局1泊2日の出張行程の中では上・中甬島には上陸できず、下甬島だけの出張となりました。

今年はコロナ禍で緊急事態宣言もあり、移動の制限がなされ、大きなストレスを感じましたが、離島の人達は天候による移動・生活の制限がこれまでもあったことを思うと、離島の人達の気持ちが今年になって、ようやく少しは理解できたかなと思います。人間にとって移動の自由は大きな幸せだと改めて感じました。何も気にせず、ぶらりと旅行できる日が待ち遠しいです。



Information

◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

本メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、内容の充実を図りたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなどがございましたら、下記連絡先に頂けると幸いです。

E-mail : hqt-soukou01@mlit.go.jp

◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当課では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することで、各地域にノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。また、イベント案内や、勉強会、講演会、セミナーなどをご紹介頂ければ、当メールマガジンにてご案内させていただきます。主催者の方でも、耳より情報でも結構です。(情報提供はこちらまで hqt-soukou01@mlit.go.jp)

【情報提供頂く内容】

・地域の交通拠点の形成・再編による地域交通の維持・活性化の取組 など

総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組みを幅広く紹介することを目的として発行しているメールマガジンであり、主な購読者は都道府県、市町村等の交通施策担当者です。

当メールマガジンで紹介させていただく記事は、執筆者が任意の協力のもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

《総合交通メールマガジンのバックナンバーはこちら↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



また、当メールマガジン以外でも、公共交通政策全般について、国民の皆様にも広く関心を持って頂くためのメールマガジンを配信しております。ご興味のある方は、以下のアドレスから配信のご登録をお願いします。

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000039.html



<送信先の変更申請について>

メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎しております。変更内容については、下記連絡先までお願いします。

E-mail : hqt-soukou01@mlit.go.jp

問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ） 麻生

TEL : 03-5253-8111 (内線53-113) FAX : 03-5253-1675

E-mail : hqt-soukou01@mlit.go.jp URL : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

※ 2019年2月28日より総合交通メールマガジンのメールアドレスが変わりました

